

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターに係る定期事業者検査についての面談

2. 日時：令和2年12月23日 13時30分～14時10分

3. 場所：原子力規制庁2階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

早川上席原子力専門検査官、佐山主任原子力専門検査官、

清水検査技術専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター 安全管理課 マネージャー 他6名

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 技術副主幹

5. 要旨

○ 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、人形峠環境技術センターの定期事業者検査報告書について、資料に基づき説明があった。

- ・ 定期事業者検査は、別添1「ウラン濃縮原型プラントの定期事業者検査の計画」により検査を実施する。なお、別添1に記載した検査項目は、昨年度に施設定期検査として実施した項目に加え、定期自主検査において実施した「建物の健全性確認検査」、「核燃料物質の臨界防止確認検査」、「安全避難通路等の健全性確認検査」等を加えたもの。
- ・ 定期事業者検査は、保安規定の定めにより、検査の独立性を確保する。

○ 原子力規制庁から、以下の内容を伝えた。

- ・ 平成30年9月28日に申請された加工の事業に係る廃止措置計画認可申請書（以下「廃止措置計画」という。）が認可された場合は、廃止措置計画に記載された維持管理対象設備が定期事業者検査の対象となり、モニタリングポスト及びモニタリングステーションが加わることから、今回の検査の期日以前に定期自主検査を実施しているのかを確認し、実施していなければ、対応を検討すること。
- ・ 廃止措置計画が認可された場合の定期事業者検査の終了の報告については、法令に基づく報告として提出すること。

○ 原子力機構から、承知した旨回答があった。

6. その他

資料：定期事業者検査報告書（定期事業者検査開始時）

以 上